

<b>授業科目名</b>	教職表現力演習 (2100301)		
<b>時間割名</b>	教職表現力演習 (44105)		
<b>時間割担当</b>	山田明広		
<b>実施期</b>	通年	<b>単位数</b>	1 選択
<b>曜日・時限</b>	木・4		

### 授業の目標・概要

現行の学習指導要領では、児童の思考力、判断力、表現力等を育む観点から、全教科において言語活動の充実が強く要求されている。言語活動とは、聴く力、読む力、話す力、書く力によるものであり、何よりも教師自身がその力を伸ばさなくてはならない。本授業では、これら4つの能力のうち特に「書く力」である「文章表現力」を身につけることに主眼をおくものであるが、4つの力を総合的に伸ばしながら、最終的には、教師として、子どもたちをはじめ、他者に物事をわかりやすく伝える表現力の基礎となる力の養成を目指す。

### 学習の到達目標

本授業では大学人・社会人として求められる日本語の基礎的ルールの理解、及び、小学校や中学、高等学校の教師として必要な高等表現、及び文章表現に関わる知識と確実な運用能力の獲得を到達目標とする。

### 授業方法・形式

テキストに従い、各項目ごとに講義と実践演習を行う。また、毎回小テストを行い、現代日本語の知識の蓄積と運用能力の向上を目指す。

### 授業計画

<前期>

第1回 ガイダンス

言葉と表現を知ろう

第2回 国語と文字

第3回 同音異義語と・同訓異義語

第4回 四字熟語

第5回 慣用表現・ことわざ・故事成語

第6回 文の構造

第7回 助詞と働きと運用

話してみよう

第8回 スピーチ

第9回 説明をする

敬語・敬意表現を使おう

第10回 敬語の種類

第11回 敬語の用法、その1

第12回 敬語の用法、その2

第13回 敬語の用法、その3

第14回 敬意表現

第15回 総合復習

<後期>

第1回 ガイダンス

書いてみよう

第2回 文章の要約1

第3回 文章の要約2

第4回 論作文1

第5回 論作文2

第6回 手紙文1

第7回 手紙文2

第8回 案内文

第9回 ビジネス文書

分析と考察をしよう

第10回 グラフ・表の分析1

第11回 考察の文章1

第12回 考察の文章2

第13回 レポート・論文の書き方1

第14回 レポート・論文の書き方2

第15回 総合復習

## 成績評価の基準

課題提出(20%) 小テスト(20%) テスト及び小論文レポート(60%)

## 準備学習・復習及び授

授業時に指示する次回の項目の実践問題をする事。

日常的に新聞記事やコラム、また日本語について論じられている文章(新書等)を心がけて読むこと。読むべき書籍については、授業中に指示する。

## 履修上のアドバイス及

文章は書かない限り上達しない。特に文章作成については、ポイントを意識しながら文章構成を考えて作成すれば、多少の時間は要するが、必ずできるようになるものなのであきらめず取り組んでいくこと。

授業時は、飲食、及び携帯電話・スマホの使用禁止。

## 教材・教科書

テキスト：米田明美他『大学生のための日本語表現実践ノート 改訂版』(風間書房)

国語辞典・漢和辞典を持参すること(電子辞書でもよい、但し携帯電話・スマホ等の使用は禁止)

## 参考書

授業時に適宜紹介する。